

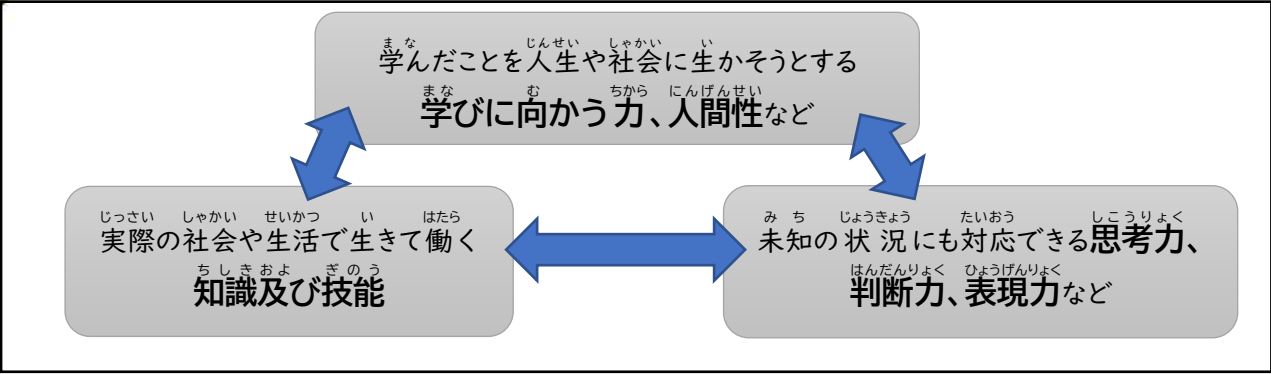
令和3年度 4月から学習評価が少し変わります!

令和3年度4月から中学校では新しい*学習指導要領に基づく学習が開始します。それに伴い来年度から新しい教科書を用いて学習するとともに、学習評価(通知表の評価)も変更されます。

*学習指導要領: 全国どこの学校でも一定の教育水準を保てるよう、国がカリキュラム(学習内容・学習時間等)の基準を定めたもの。およそ10年に1度改訂され、それに基づき教科書や時間割が作成されます。



新しい学習指導要領では学校教育で育成する資質・能力が以下の3つに整理されています。



目標に合わせて、評価も変更されます。



通知表の評価が全教科で3つの観点に統一されます。

(例) 数学科の例

【現在の評価】	【新しい評価】
観点1: 数学への関心・意欲・態度	観点1: 知識・技能
観点2: 数学的な見方・考え方	観点2: 思考力・判断力・表現力
観点3: 数学的な技能	観点3: 主体的に学習に取り組む態度
観点4: 数量や図形などについての知識・理解	

全教科で評価の観点が同じになります。



それぞれの観点に対してA、B、Cの3段階で評価を行い、それらを踏まえて1~5の評定をつけます。

※ 評価方法の詳細については新学年の授業で説明します。